

- ・コラム（杉浦 良）
- ・お知らせ（インターン受入、体験
実習・見学、職員異動）
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

146号/2011年 *Since 1984*

—「おおたか静流チャリティーコンサート・セカンド」— 杉浦 良

今年の3月16日（水）夜7時から徳島市寺町にある般若院本堂で、「おおたか静流チャリティーコンサート」が行われました。粉雪舞い散る夜空にも関わらず、お寺の廊下まで人で埋め尽くされ、熱気あふれるものでした。太陽と緑の会支援のチャリティーコンサートを行いたいと、昨年宮崎住職から有難い連絡をいただきました。ただ、おおたか静流さんと言われて思い当たらなかったのと、パソコンで検索してみれば聞き覚えのある歌声だったという、穴があれば入りたい心境でもありました。友引にはお葬式をしないという理由で、先勝のこの日に決められました。その前の先勝は3月10日、3月11日が友引でした。その11日に、あの東日本大震災が起きました。



イラスト 福住さん

その日の報道でこの惨事を知ることとなった瞬間、「おおたか静流チャリティーコンサート」は太陽と緑の会へではなく、東日本大震災へのチャリティーにシフトしようかと思いついていたところ、宮崎住職から同じ思いの電話が入りました。テレビ映像で展開される地震と津波と原発事故の惨状に、どうすることもできないもどかしさの中、各地でイベントの中止が伝えられました。「コンサートは中止せずに行おう・・・」宮崎住職と私の気持ちでもありました。

おおたか静流さんの歌声は般若院の本尊を背に祈りと鎮魂にかわり、Keiju（中嶋恵樹）さんのギターと慧奏さんのピアノが、その鎮魂歌を徳島から東北の雪夜へ送り届けているようでした。皆さんからの入場カンパ 190,666 円と、おおたか静流さん提供の CD 販売 42,000 円、あわせて 232,666 円は、仙台の難病ホスピス等を運営する（社福）ありのまま舎に送金しました。また大変有難いことに、おおたか静流さんから 50,000 円と、般若院の募金箱から 59,083 円を太陽と緑の会へのカンパとして頂戴いたしました。

地震や津波や原発事故での大きな被害はなかったものの、人工呼吸器が停電で止まり、非常用発電機のガソリン確保に職員が昼夜駆け回ることになったと、現地の状況報告を受けました。

半年もすれば東日本大震災も落ち着いてくるのではとの楽観から、秋には太陽と緑の会へのチャリティーコンサートをやりましょう、との有難い言葉を頂きました。ただ半年を過ぎた現実、楽観を

許しません。半年が過ぎてありのまま舎自体は落ち着いたが、沿岸部の在宅難病患者さんが厳しい状況に置かれていること、重点的にその支援を行っていくことを、常務理事の白江さんからうかがいました。

そこでこの 10 月 25 日（火）午後 7 時から（入場午後 6 時半）、般若院本堂にて「おおたか静流チャリティーコンサート・セカンド」を行うことになりました。一口 1000 円のカンパをお願いし、ありのまま舎に送金します。

おおたか静流さんの歌声、Keiju（中嶋恵樹）さんのギター、慧奏さんのピアノが、どう 2 度目の徳島の夜空を彩るか・・・、般若院の本尊とのコラボレーションが、どうこの苦難を止揚するのか・・・

『死と再生』・・・、今回のコンサートのテーマに思えてなりません。



イラスト 阿部さん

お知らせ

チャリティライブ開催

10月25日(火)、午後7時(午後6時30分入場開始)から、般若院にて、おおたか静流さんのチャリティライブを開催します。(開催経緯は本機関誌の巻頭コラム参照)

主催 般若院(徳島市寺町)
協力・お問い合わせ 太陽と緑の会
088-642-1054

支援金 一口¥1,000
(当日会場にてお願いします)

ライブ会場への交通手段

JR 徳島駅から徒歩15分
バス 西大工町3丁目バス停から
徒歩2分(徳島市バス)
車 近隣有料駐車場を利用
(藍場町駐車場(徒歩10分)など)

太陽と緑の会は、当日通常活動を早めに終了し、コンサートの受付、場内整理、近隣の駐車場案内等の裏方のサポートを行う予定です。



イラスト 福住さん

紹介して頂きました

8月15日発行のタウン誌「徳島人」にて、太陽と緑の会の活動を紹介して頂きました。先月の創刊号に続いて2回目の掲載で、本当に有難いことと思います。

太陽と緑の会リサイクル作業所メンバー米田太さんの、自作詩集「協元」の販売活動を、朝日新聞(6月15日付徳島版)、徳島新聞(8月31日付)で紹介して頂きました。ありがとうございました。

見学受入

8月25日 精神障害者生活訓練施設ウイスパより、職員1名、実習生1名が来所。実習生の方は、長年老人福祉の仕事をし、退職後、精神保健福祉の勉強をされているとのことでした。

実習終了後の8月27日、当会を訪れご寄付までして下さいました。本当にありがとうございました。

9月16日 NPO法人びいあらいぶ(障害者サービス事業所の運営等・9年前に精神障害者小規模作業所としてスタートし、5年前に法人格を取得・広島県福山市)より、利用者28名、職員7名の計35名の皆様が、3年前に続き2度目の来所・見学。

立ち上げ当時の状況を知らない新しい職員・利用者の方も多い中で、次の展開を模索するという意味もあったのかもしれない。見学終了間際まで質問をされる姿が印象に残りました。

インターン受入

9月30日、10月1日、3日、4日、6日と5日間に渡り、グランドワーク・インターンシップのOJT研修を受け入れました。

参加されたのは、徳島県美馬市在住の林さん（69才）。長年、県外で仕事をし、退職後郷里に戻り、国際交流のNPO活動に取り組んでおられるとのことでした。自分の人生はこれでよかったのか、まだやれていないことがあるのではないかと、との思いから、今回の研修に参加されたそうです。

当会の様々なハンディを持ったメンバーと共に、10個100円セール、新館での商品陳列準備・清掃・整理など、いろいろな作業を体験して頂きました。

片道1時間かけての研修、本当にお疲れ様でした。

大学生 体験実習

8月29日、徳島文理大学人間福祉学科3年生3名の皆様が、太陽と緑の会リサイクル作業所でボランティア体験実習を行いました。

ガイダンスと見学後、作業所の様々なハンディを持ったメンバーと一緒に、商品の陳列、品物のお持ち込みの対応など、いろいろな作業に関わって頂きました。

右も左も分からない実習生さんに、メンバーが手取り足取り作業を教え、なごやかな雰囲気でした。

暑い中、お疲れ様でした。

職員異動

片岡さん（岡山県出身）が9月1日より当会でパート職員として活動を始めました。

お買い物を楽しむお客さんとして来たのがきっかけで、当会とのお付き合いが始まり、その後ボランティアとしても関わってくださるようになりました。

片岡さんは、主に新館売場のディスプレイを担当してくれます。雑貨・食器・小物類が好きな彼女の、センスあふれる売場にご期待下さい。

また専任職員として活動してきた宮浦さんが、8月31日付けで当会を退職しました。新館売場のディスプレイ、電化製品の動作テストなどで活躍してくれました。3年半の間、お疲れ様でした。今後の活躍を願っています。



イラスト阿部さん

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2011年8月1日～2011年9月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

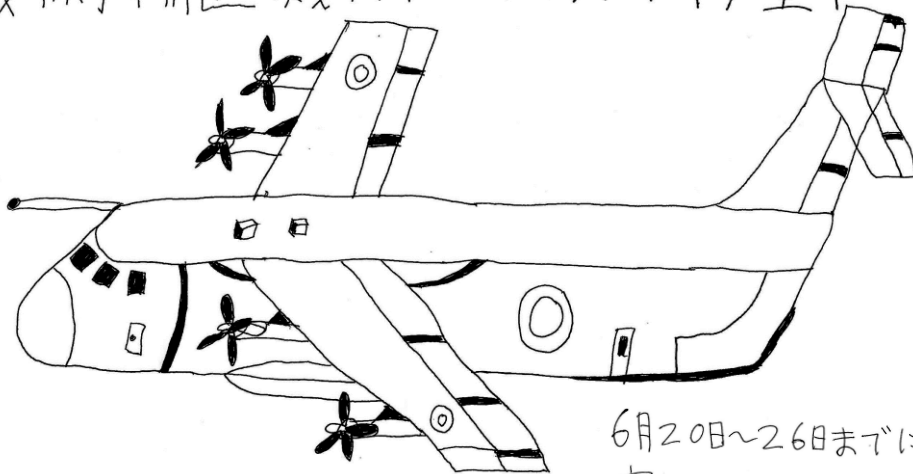
ご寄付を下された皆様

佐野、匿名、宮本、太田、荘田、匿名、成瀬、佐藤、サンパウロ、後藤

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○黒岩、田村、太田、渡辺、野々瀬、森、山本、川野、藤井、久宍、山村、富岡医院、内田、池尻、東條、板東、新居、近藤、佐々、古本、林、安田、中村、天満、荘田、香川、吉田、佐伯、辻、西野、堀井、宮越、富永、熊本、平尾、松下、岩藤、木谷、荘田、山城、大宗、穴吹、立岩、西條、位田、昼間、生長の家、佐伯、橋本、松本、中川、伊丹、宮井、雲財、岡本、住友、三木、大原、徳島大学 香川、市川、盛、木村、石田、山崎、方上保育所、岡田、酒井、穴吹ハウジング、カンガル一歯科、岡崎、(有)メディアル、犬伏、前川、佐々木、沢口、四宮、兼子、川原、西島、久米、山田、森田、河野、以西、坂東、沢田、東、流、松岡、加藤、坂野、森脇、原、齋木、鴻野、久保、天羽、七田、上原、中山、八万南小学校、岩佐、相葉、矢田、船戸、川瀬、大野、杉山、高橋、兼松、豊田、村雲、本田、藤永、前田、八木、矢野、長谷川、梅田、赤沢、福田、阿部、久保田、蔵本、石川、杉本、安芸、松田、本浄、(株)フジコム、松井、渡辺、賀好、中山、ファミリーマート仲之町店、片山、井原、富本、立石、村上、小川、蔭山、川端、倉田、芦谷、城東高校、粟谷、長尾、増田、美馬、大櫛、重本、松崎、佐藤、祖父江、吉成、中西、大西、平良、久米川、鹿山、川井、可原、東山、西山、斉木、砂田、穴吹ハウジングサービス、竹村、益田、あがたに、小倉、岸本、塩見、北野、宮本、富川、亀谷、鶴澤、島田、真鍋、石原坂田、津田、白川、藤原、藤本、小西、小池、船越、○上板町○高井、川内○板野町○グループホーム春風の里、月岡、岡村○石井町○山本、岡本、中村、河見、矢部、藤中○吉野川市○由繁、菅東、田村、三和工業○松茂町○宮武○鳴門市○原田、久龍、福田、多田、平野、山田、梶本、中原、大和、福島、岡崎、虎尾、丹羽、武知、加藤、井上、寺田、大森○北島町○川崎、結城、西、税、中野、国方、三浦、谷崎、瀬戸○阿南市○大下、河野、宮本、谷、藤井○神山町○老人保険施設 かじかの郷○小松島市○橋本、小村、三原、新本、浦田、内藤○藍住町○あさなみ、坂東、栗坂、吉武、森、半村、粟内、豊田、石井○板野町○井上、田村○阿波市○安本、森、浅井、藤田

戦術輸送機 A400M スパイス空軍



6月20日～26日までに第49回パリ国際航空ショーがフランスパリ郊外のルーブルジェ飛行場で開催されました。A400Mは国際共同開発されている戦術輸送機です。スパイス空軍です。

イラスト・説明文 藤田さん

品物を持って来て下さった皆様（郵送含む）

○徳島市○岩藤、日開、中平、浅川、楠原、田中、大本、白井、堀、杉本、板東、竹田、木内、河野、田口、西、坂本、越智、豊崎、富永、荒岡、小池、原、河口、川端、武市、犬伏、久米川、山下、菊池、水口、西谷、石渡、船井、高橋、後藤、竹口、丸笹、バンドウリメイク、元木、赤木、BAYANA、宇野、福永、藤吉、山中、森田、岡田、高木、藤本、生駒、山本、岸本、井上、近藤、高田、宮田、鈴木、影谷、横山、井内、一木、岡森、杉原、宮城、北井、佐藤、住友、安崎、佐木山、本田、豊川、殿井、大寺桂、矢野、豊田、米田、栗尾、有田、西野、仁木、幸田、正木、山、岡本、藤原、三谷、池田、重井、平尾、森崎、大幸、乾、田尾、桑原、村松、橋本、松下、清井、竹本、粟谷、窪川、郡、大北、山田、川人、太田、川島、高力、森本、中島、美記、工藤、横田、高島、藤川、林、杉崎、吉永、松本、青木、荒川、巻、堀田、内野、中原、芦田、福井、山橋、伊藤、山ノ井、大上、冨峰、井原、柳生、小畠、中園、安藝、田岡、竹内、森川、松田、細井、篠原、西富田社会福祉協議会、大和、川尻、佐野、原田、川口、生田、尾形、阿部、手橋引地、赤岩、三浦、石見、四方、平山、二宮、宮井、脇、西岡、半場、南、地域活動支援センターやまもも、熊谷、杉浦、川崎、小泉、米崎、湯浅、浜田、内海、北、野田、立石、西原、松村、森岡、ヴォルティスサポーター 有志、大西、中屋、木村、中村、寺橋、野本、澤野、岩井、田村、四宮、福富、西良、平田、西田、武井、谷、大栗、大島、多田、上田、杉内、谷川、濱口、西村、島田、荒井、ねたきりになら連、麻植、中野、三木、山松、柿原、黒田、酒井、島、河崎、斎藤、桂、中西、石川、平野、坂田、桐本、中山、大村、谷口、浦谷、鴻野、梅本、中河原、以西、加納、牧野、佐子、橋、井上、渡辺、宮本、田部、秋山、佐竹、木山、辻、福家、新居、志摩、長尾商事、猪山、勝田、夏木、北澤、和田、松山、(株)徳島県教育印刷、吉田、遠藤、元木、村賀、上山、西林、柴山、長田、三枝、井川、船戸、岩根、平島、島野、美馬、三隅、(有)徳島末広公園、茂村、木野内、まごころ訪問看護ステーション、猪森、木下、清水、木藤、フロスト、藤岡、上原、織田、葉原、森下、アコガラン、玉野、佐々木、渡、矢部、大久保、柏原、東條、江西、乾、生野、伊世、田尾、大林、真弓、久保、植松、堀川、勝間、長野、枝澤、郡、楨内、西浦、岩丸○鳴門市○篠原、小田、乾、石丸、大下、新居、馬島、秋山、廣田、麻植、久武、田中、ワタソ、渡、松山、青山、高麗、郡、梶本、後藤、山本、高田、近藤、椋原、濱堀、大橋○石井町○堀井、吉本、門條、太田、NPO法人 四季の会、井上、大島、谷、三木、石本、多田、藤本、宮本、福島、山本、兼子、加藤、松下、久米、桑原、小室、近藤、村本、板東、松浦、天野、小川、中東、谷村、滝川、児島、中野、山西、田中、高木、加藤○藍住町○松本、萬藤、小笠原、奥住、伊勢、中川、椋原、立石、四宮、吉本、井出、野口、吉田、山内、瀧川、石本、岡本、影山、三木、杉村、中尾、岡田、橋本、上崎、堀内、有島○小松島市○新居、木村、柿田、中川、月岡、井内、柿田、尾田、近藤、中村○吉野川市○谷、曾川、藤原、青木、楨納、鎌谷、梶山、田中、柿本、吉田、毛利、木村、上浦小学校、福岡、松本、松田、田村○上板町○河野、稲井、安永、フロスト、上井、アンザキ、佐野、坂井、○阿南市○高島、武市、阪野、米田、久米、近藤、松浦、志賀、松本、佐野、庄野○北島町○杉野、荻原、高橋、佐川、和泉、森久、中尾、北野○阿波市○福田、中西、佐々木、板東、田口、介護老人保健施設 リブインクローバン、高田、麻植、岩田○板野町○上田、土内、高木、中平、田村、沖津、中原、阿部○松茂町○上田、元木、長岡、田中、福山、廣田○三好市○滝下○神山村○中原、藤川、中野○東みよし町○山岡○勝浦町○福田、川端○佐那河内村○清水○つるぎ町○谷、嘉納○美馬市○樋口、曾我部、吉田○兵庫県○足立○広島県○久次米、びいあらいぶ○埼玉県○本田○福岡県○永峰○愛媛県○濱田○海陽町○神沢○大阪府○真柄○その他○久次米、大川

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、持ち込みカードにお名前を書かずに帰られた方もおられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障がい者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

また河野様より作業所メンバー、スタッフの昼食にチキンカレーを頂きました。いつもおいしい手料理をご馳走して下さい、本当にありがとうございます。

編集後記～原点回帰～

仙台の（社福）ありのまま舎専務理事の山田富也さんが亡くなられて1年が過ぎました。3人とも筋ジストという山田三兄弟と近藤文雄との出会いから、太陽と緑の会の発足、新生、再生、そして現在に至るまでの細い糸をたどりゆく中で、ある文章との出会いを思い出しました。

太陽と緑の会創立者の近藤文雄が、平成7年8月に著した「私の世界観」の後書きです。その2年半後、近藤文雄は81歳でこの世を去りました。

以下は、その抜粋です。

「私はこの40年間、身体障害者に始まって各種の心身障害者、とくに筋ジストロフィーの問題について深く関わってきました。さして、それらの人々の幸せを守るために可能なあらゆる方法を模索し、まだ治療法の確立されていない筋ジスト患者のためには治療法を開発する研究所設立まで考えました。それらの企画は一応それなりの成果を収めました。結局障害を完全に取除かないかぎり障害者は満足できないということが分かりました。しかし、いくらやったところで切断した手足が生える訳ではなく、破壊された脳細胞が生き返る見込みもなく、また筋ジスト患者の失われた筋肉が再生するはずもないので、そこで行き詰まりました。

そして改めて考えてみると、仮に手足が生え、筋肉が回復したとしても、それだけでその人が無条件に幸せになれるものではありません。なるほど回復したときは悦ぶでしょうが、そこは人間、まも

なくその喜びは薄れて他の不満が頭をもたげてきます。そして、障害が回復したということは幸せ競争において、それでやっと健康な人と同じスタートラインについたに過ぎない、とすることに気付いたので。

それでは、彼らが文句なしに100パーセント幸せになれる方法はないものか、ということになります。それを探したいと思いました。結論的にそのような道も無いではない、と今は思っていますが、それは途方もなく難しい道で、まず私自身が自らの問題として取り組むべきであると覚ったのです。全ては当人の心が次第、傍の援助には限界があるということです。

人間の欲望には際限がありませんから、当人がその気にならなければ、傍が幾ら努力しても完全な満足は得られません。反対に当人さえその気になれば今のままでも十分幸せになる条件はととのっているのです。まわりを見回してみると、恵まれない環境のなかで満ち足りた平和な暮らしを楽しんでいる人がいくらか居ることに気付きます。

幸せ薄い人のために傍の者が懸命に尽くすことは美しいことです。しかし、そのなかで、当人が人間の真の幸せとは何かを覚る手助けをする努力も忘れてはなりません。その方が一番大事なことからです。このことは老人問題においても同様です。より多くの物心のサービスを受けることがより大きな幸せであると考えられる傾向が、障害者や老人の側ばかりでなく与える側にもしばしば見られます。そうなると、物さえ与えればよい、サービスさえ増やせばよいと言う、形に捉わ

れた福祉政策が罷り通り、肝腎の心の問題が忘れられることになります。心が忘れられた福祉とは何でしょう。長者の万灯だけが目について、貧者の一灯の価値が分からなくなるのです。」

「自分だけは、死ぬまで皆から大事にされ、惜しまれ、平和裡に死んでいきたいと願うのは人情ですが、そんなことを願う人にそんな望みが叶えられるはずはありません。欲望は一つ実現すれば、次は一段上の欲望が現れて最後には実現不能な欲望に突き当たるだけだからです。足ることを知る人だけに満足は与えられるのです。」

「最近、老人や障害者の福祉を論ずるとき、よくQOLという言葉が聞かれます。より高度のQOLを実現するにはどんなマニュアルが必要かということが論議の中心になっているようです。そこでしばしば見られるのは、一番肝腎な当人の生きる心構えが問題の外に置かれているということです。しかし、それを抜きにしてつくったマニュアルは気の抜けたビールのようなものです。とはいっても、人間が如何に生きべきか、人間の真の幸せは何処にあるかという事を知ることは一生かかって完成すべき大事業で、人生の

終末を目前に控えてつけ焼刃で間に合わせるなど出来ません。言うは易く実行しがたいことであります。それでもそのことに気が付けば幸いです。人生を達観し解脱の境地にたっする事は無理としても、南無阿弥陀仏に徹する事が出来ればこのうえありません。そのためには、宗教家は奮起しなければなりません。救いを求める人々が巷に溢れているからです。

「といって私自身が批評家の位置にとどまっていたのでは申し訳ありません。非力なりにも出来るだけのことは実践したいと思います。たとえ、ドン・キ・ホーテ的螻蛄の斧と終わっても、それは仕方のないことです。」

私が初めてこの文章と出会ったのは、大学を卒業後、太陽と緑の会と関わるようになって間もない頃でした。

東北6県の中心的な国立病院で病院長として筋ジムの患者さんの入院受入を決断したこと、その後「病院長になりたい人はいくらでもいるが、筋ジムの研究所を作ろうという人はいないから」と、病院長の職を辞し郷里の徳島で研究所設立運動に身を投じたことの意味を、今改めて考えています。(小山)

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街作り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX

088-643-1054 (事務局)

088-642-1054

(リサイクル、地域活動支援センター)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿入力 岡田 郁子

製本・発送 岡田郁子 走川幸児 宇津辰則

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703